

教育指導課便り

～つながり合い、共に学びをはぐくむために～

函館市教育委員会
学校教育部教育指導課
平成24年7月18日発行
VOL. 5

教科指導員研修会報告

去る6月25日、平成24年度の教科指導員委嘱状交付式を行いました。

今年度委嘱を受けた教科指導員は以下のとおりです。

(敬称略)

吉田 敬三 (北中教頭：国語科)
三浦 佐和子 (潮見中教頭：算数・数学科)
仲井 靖典 (鱒川中教頭：図画工作・美術科)
対馬 寿恵 (白尻中教頭：音楽科)
池田 公貴 (大川中教頭：体育・保健体育科)

委嘱状交付に引き続いて行なわれた第1回の教科指導員研修会では、今年度の函館市の教育の指針、今後の教科指導員の業務等についての説明を行いました。

学校図書館担当者会議報告

7月17日、平成24年度第1回学校図書館担当者研究協議会を行いました。

本年度の学校図書館アドバイザーである熊谷氏から「学校図書館運営におけるポイント」について講話をいただいた後、実践発表「学校図書館運営の実際」、研究協議「読書活動に関心をもつ児童生徒を育むために」を行いました。

実践発表では、桔梗小学校木崎裕美教諭から「継続的な図書館運営の実際」、東山小学校福崎梢教諭から「函館市学校図書館研究会の取組」について発表をいただきました。

なお、本年度は、次の2つの事業を実施いたしますので、各学校においてご活用願います。

- ① 学校図書館アドバイザー派遣事業
- ② 学校図書館サポート

各学校の学校図書館の充実に努めていきます。

コラム：学習評価 (②)

2学期に向けて、各学校における新学習指導要領の趣旨を踏まえた学習評価の充実が一層図られるように、2点についてご紹介します。

1 目標と指導と評価の一体化

- 子どもの学習状況を適切に評価し、評価を指導の改善に生かすため、本時の授業において、目標の実現に向けた指導や評価であったかどうかを検証することが大切です。

◆ 指導前	・本時の目標と評価規準を確認	・「努力を要する」と判断される子どもへの指導の手立てを設定	
◆ 本時	・目標を実現するための指導	・目標の実現状況を評価	・評価結果に基づいた指導
◆ 指導後	・観察やワークシート等をもとに評価結果を記録		
	・評価結果を踏まえ、指導方法の振り返り		
	・家庭学習や放課後の補充的な学習等による指導		

2 チェックリストの活用

- 次のようなチェックリストを活用し、自校の学習評価の改善充実を図る方法が考えられます。

<input type="checkbox"/>	教職員間で「学習評価の改善の趣旨」の共通理解を図っていますか。
<input type="checkbox"/>	各教科の評価規準を新しい学習評価の観点に基づいて教職員が協働して作成していますか。
<input type="checkbox"/>	学習評価を生かした授業改善について校内研修を実施していますか。
<input type="checkbox"/>	自校の学習評価の考え方を子どもや保護者に説明していますか。
<input type="checkbox"/>	各教科の単元や単位時間において、評価規準に照らして子ども一人一人を見取り、必要な指導の手立てを講じていますか。
<input type="checkbox"/>	自校の学習評価の結果と全国学力・学習状況調査等の各種調査結果を比較し、評価の妥当性や信頼性について検討していますか。
<input type="checkbox"/>	近隣の学校間で、学習評価に関する情報交流を実施し、自校の学習評価の取組を見直していますか。
<input type="checkbox"/>	評価結果をもとに、授業や指導計画の改善を行っていますか。

コラム：生徒指導 (①)

長期欠席児童生徒夏休み後急増 (学期間の指導をつなぐ、心をつなぐ、やる気をつなぐ)

6月25日付け通知にて、夏季休業中の指導をお願いしたところですが、重要な指導の1つに不登校対策があります。

休みがちな児童生徒の数は、夏休み明け(9月)に急増します(右図参照)。また、南北海道教育センターへの不登校に関する相談件数にも同様の傾向が見られます。欠席理由には「怠学」や「家庭生活の急激な変化」があげられています。生活リズムの崩れやすい長期休業中の学習支援や教育相談など、児童生徒との心の糸をつなぎ、新学期への意欲をもたせるような取組が、登校に消極的になりがちな児童生徒の精神的な負担の軽減につながっている例もあります。

<長期欠席児童生徒数(小中)>

